

## GORE TAG® 操作上のチェックポイント

### 操 作

1. CT読影及び正確なサイジング
2. 適応に則った症例選択と、ケースプランニング(デバイスの組み合わせ)
3. アクセスルートの選択・必要に応じた事前処置(Conduit)
4. デバイス留置位置及びデバイスサイズ選択の為の造影
5. 20,22,24Frシースの準備(フラッシュとダイレーターキャップの確認・装着)
6. シース挿入時の確認(ガイドワイヤーの挿入状態やブラックマーカの位置確認)
7. ダイレーターの抜去及びクランプによる止血
8. デバイスの準備(フラッシュ)
9. シースのキャップ(デバイス用)交換
10. デバイスの挿入時の注意事項
11. 留置位置の確認(必要に応じたC-ARMの操作)・造影
12. デバイスのディプロイメント
13. カテーテルの除去、シースクランプによる止血操作
14. 追加デバイスの準備 及び上記8、10-13の実施
15. デバイス留意位置及びオーバーラップ長さの確認
16. ゴアトリローブバルーンの準備(吸引、テストインフレーション、適切な容量)
17. ゴアトリローブバルーンの挿入及びタッチアップ(順序など及び60° 回転)
18. バルーンの抜去、抵抗時の処理
19. 最終造影の実施
20. アクセスルートの造影、問題の有無の確認